



ウチエのポータブルトイレ

さわやかチェア PT



ウチエのポータブルトイレ

さわやかチェア PTN（幅狭）



ウチエのポータブルトイレ

さわやかチェア PTセーフティロック

ご使用のしおり

さわやかチェアPT

品番:8220(肘掛け自在)
8221(肘掛けはね上げ)
8222(ホット便座・肘掛け自在)
8223(ホット便座・肘掛けはね上げ)

さわやかチェアPTN

品番:8261
8263(ホット便座)

さわやかチェアPTセーフティロック

品番:8221SAL
8223SAL(ホット便座)

**最大使用者体重
100kg 以下**

このたびは、弊社の『さわやかチェアPT』『さわやかチェアPTN(幅狭)』『さわやかチェアPTセーフティロック』をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- ・ご使用になる前には、本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ・本書は必ず保管しておいてください。
- ・本品を他のお客様へお譲りになるときは、必ず本書も合わせてお渡しください。
- ・お買い上げのポータブルトイレは改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。

※セーフティロック(以下「SAL」という。)

各部名称



【肘掛けはね上げタイプ】

さわやかチェア PT



【肘掛け自在タイプ】

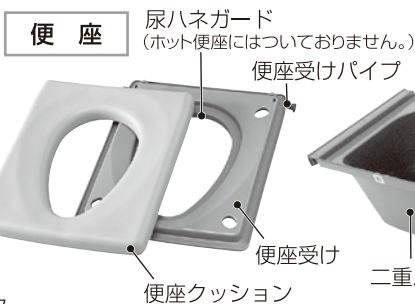
さわやかチェア PTN(幅狭)



さわやかチェア PT SAL

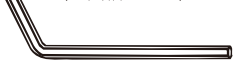


※PTの肘掛けはね上げタイプ、SALに付属。PTNは別売。



■ 付属品

- ・ご使用のしおり(本書)
- ・ニオワン(消臭剤)試供品
- ・六角レンチ (二面幅 4mm)

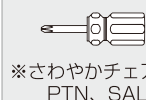


・布製ペーパーホルダー15(芯、カバー)



※トイレペーパーは付属されていません。

・+ドライバー (※3)



※さわやかチェア PTN、SALに付属

仕様

材 質	・本体/天然木	・便座/EVA、ABS樹脂	・二重バケツ/ポリプロピレン
	・クッション (SAL: 肘掛け、前方グリップ) /合成ゴム、PVC	・背シート、座パッド/合成皮革、ウレタンフォーム	
	・滑り止めゴム/合成ゴム	・バケツフタ、バケツ本体/ポリプロピレン	
重 量	・PT、SAL: 約18kg (約19kg) ・PTN: 約17kg (約18kg) ※ () 内はホット便座		
バケツ容量	約10ℓ		
電 源	AC100V-35W		
(ホット便座)			

サイズ

単位:cm

	さわやかチェアPT		さわやかチェアPTN	さわやかチェアPT SAL
	自在	はね上げ [®]		
幅	52	53.5	50	54.5
奥行	56	59.5	60	60.5
高さ	81.5～90.5		80.5～89.5	
座幅（肘～肘）	43	44.5	39.5	45
便座奥行	43.5			
肘から便座	19／21.5／24			21／23.5／26
便座高	37～46（3刻み、4段階）			
背シート奥行	46／48			

肘掛けの取り扱い方

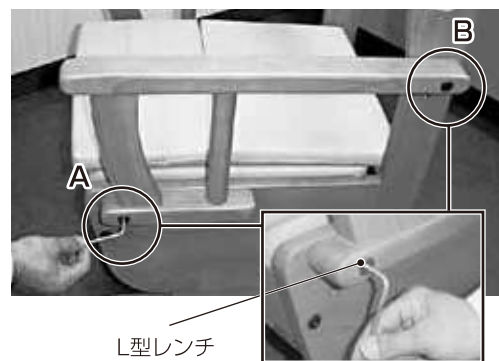
⚠ 注意 ※人が座っている状態やものを載せた状態で肘掛けを持って移動しないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。

●肘掛け自在タイプ さわやかチェアPT

- 1.肘掛けはA、B2ヶ所のボルトで固定されています。付属のL型レンチを用いて抜いてください。
- 2.ご利用になる肘掛けの長さを上にして取り付け、A・B2ヶ所をボルトでしっかりと締めてください。短い肘掛けはベッド等への横移乗が楽になりますので、ベッドサイドでのご利用の際におすすめていたします。

●肘掛け自在タイプ高さ調節

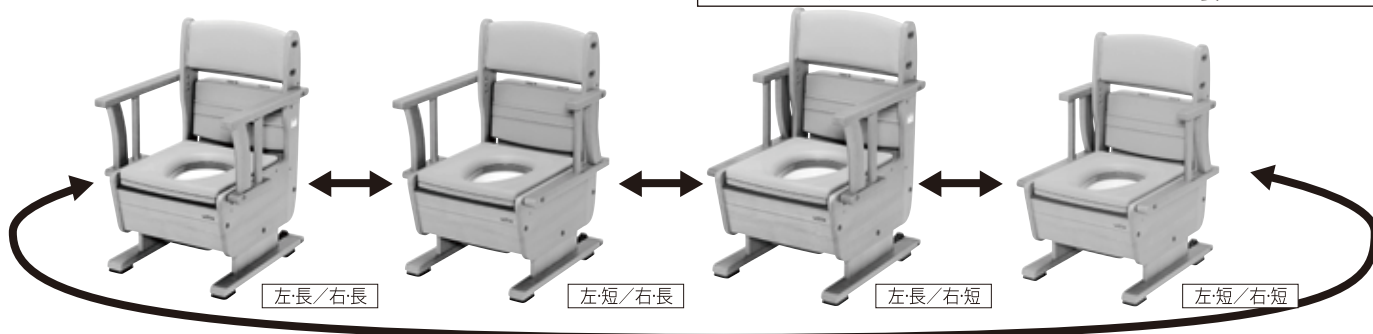
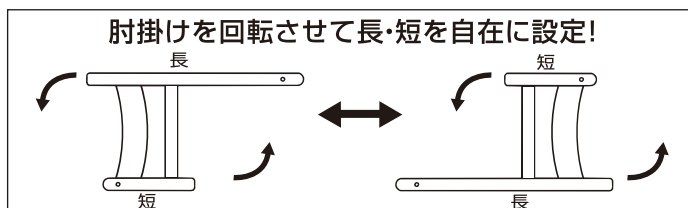
- 1.肘掛けはA、B2ヶ所のボルトで固定されています。付属のL型レンチを用いて抜いてください。
- 2.ご利用になる高さに合わせて取り付け、A・B2ヶ所をボルトでしっかりと締めてください。高さ調節は3段階です。



⚠ 注意

※ボルトは付属のL型レンチでしっかり締め付けてください。

症状に合わせて肘掛けの長さが4通り付け替えできます



●肘掛けはね上げタイプ さわやかチェアPT さわやかチェアPTN

- 1.肘掛けロックバーの上部を押してロックを解除し(写真①)、肘掛けをはね上げます。(写真②)肘掛け支柱は折りたたむことができます。(写真③)『さわやかチェアPT』の肘掛けはさらに後方に回転させることができます。(写真④)
- 2.肘掛けをロックする際は、支柱を写真②の状態に戻し、肘掛けロックバーを肘掛け受けにはめこんでください。

ここを押して下さい

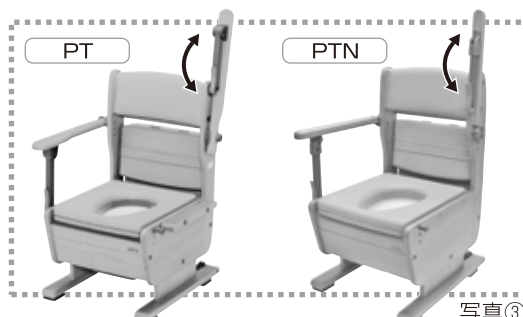


写真①

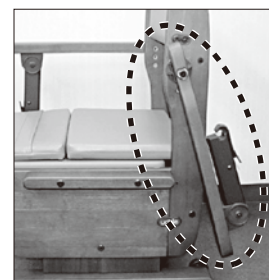
肘掛けロックバー



写真②



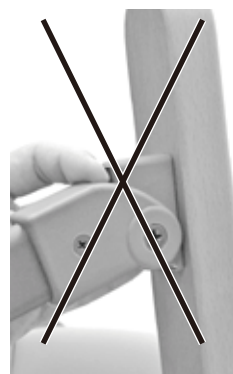
写真③



写真④

⚠ 注意

- ※肘掛け支柱を折りたたんだ場合(写真③)、必ず支柱を写真②の状態に戻してから、肘掛け受けにロックしてください。
- ※使用時には必ず肘掛けロックバーをロックしてください。ロックがされていないと肘掛けが外れ、転倒、けがをするおそれがあります。
- ※はね上げた肘掛けに寄りかからないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。特に『さわやかチェアPT』の肘掛けは後方に回転するので寄りかかると危険です。
- ※固定した肘掛けの先端を内側から強く押さないでください。肘掛けロックバーが肘掛け受けから外れ、破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- ※使用者を乗せたまま肘掛けを持って移動しないでください。肘掛けロックバーが破損し、転倒、けがをするおそれがあります。
- ※『さわやかチェアPTN』の肘掛けをはね上げる際は、肘掛け支柱のすきま(写真⑤)や、可動する肘掛けと本体とのすきま(写真⑥)などで手や指をはさまないよう注意してください。けがをするおそれがあります。



写真⑤



写真⑥

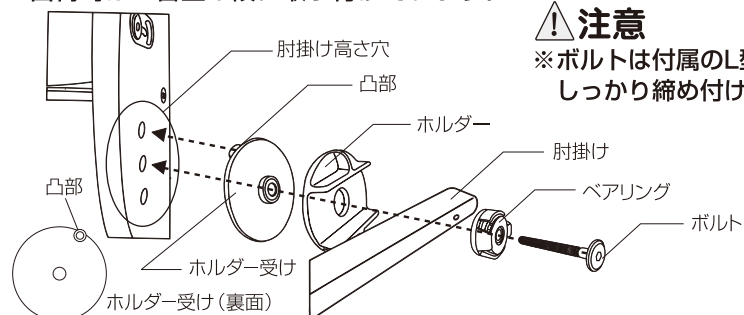
肘掛けの取り扱い方

●肘掛けはね上げタイプ高さ調節 さわやかチェア PT

1. A・B2ヶ所のボルトを、付属のL型レンチを用いて抜いてください。
2. ホルダー受けの穴をご利用になる肘掛け高さの穴に合わせます。凸部を上、もしくは下の穴に合わせます。
3. ホルダー、肘掛け、ベアリングの順に取り付け、A・B2ヶ所をボルトでしっかりと締めてください。

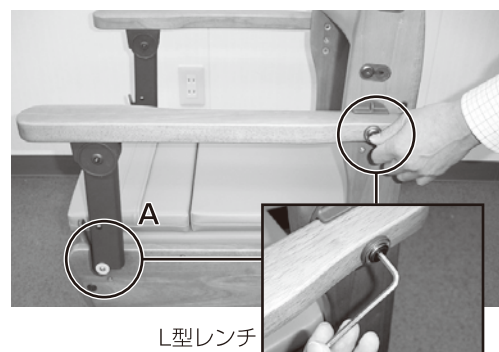
高さ調節は3段階です。

※出荷時は一番上の段に取り付けています。



⚠ 注意

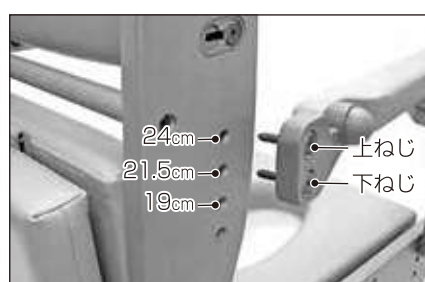
※ボルトは付属のL型レンチでしっかりと締め付けしてください。



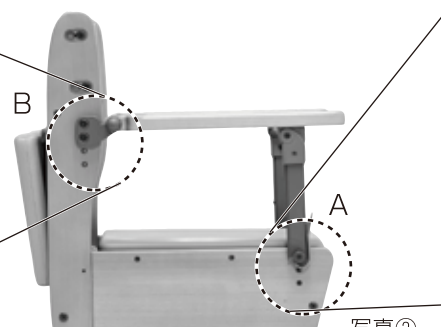
L型レンチ

●肘掛け高さ調節 さわやかチェア PTN

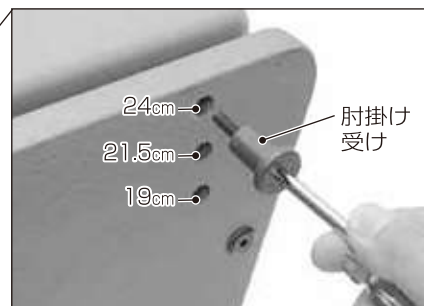
1. 肘掛けを持ちながら付属のL型レンチでBのねじをゆるめて外してください。(写真①②)
2. 上ねじをご利用になる肘掛け高さの穴に合わせ、L型レンチでねじ(上下)を締めてください。(写真①)
3. 付属の+ドライバー(#3)でAの肘掛け受け取付ねじをゆるめて外し、先ほど調節した肘掛け高さと同じ段階に合わせ、+ドライバー(#3)でねじを締めてください。(写真②③)



写真①



写真②



写真③

⚠ 注意

- ※肘掛け取付ねじ(上下)Bと肘掛け受け取付ねじAは同じ段階に調節してください。
- ※肘掛け高さ調節後は、A、Bのねじがゆるんでいないか確認してください。
- ※肘掛け取付上ねじを19cmより下の穴に合わせないでください。
- ※肘掛け取付ねじ(上下)Bはかならず2本とも使用してください。

●前方グリップの取り扱い方 さわやかチェア PT SAL

- ・前方グリップを外側に回転させると開きます。(写真①)
移乗時や立ち上がる際にご使用ください。

- ・前方グリップを内側に回転させると閉じます。(写真②)
閉じた前方グリップに身体を預ける事で排泄しやすい前傾姿勢が安定して取れます。前傾姿勢がうまく取れない方、補助がないと座位が保てない方におすすめです。

⚠ 注意

※立ち座りの際は、次の事に注意してください。

- ・肘掛けを内側や外側に回転させるような使用はせず、肘掛けを垂直に押すように使用してください。不意に肘掛けが回転し、転倒、けがをするおそれがあります。
- ・前方グリップの片方だけに荷重を掛けたり、前方グリップを手すり代わりにして横方向に力をかけないでください。
- また、前方グリップに腰掛けないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- ※使用者が前方グリップを支えにしての移動や立ち上がりはしないでください。転倒、けがをするおそれがあります。
- ※前方グリップを閉じたまま立ち上がらないでください。
- ※乗車中は、前方グリップを閉じて使用してください。
- ※乗車中は、前方グリップを持った状態で前のめりにならないでください。バランスを崩し、転倒の原因となります。
- ※前方グリップを無理に引っ張ったり押さないでください。クッションが破損するおそれがあります。
- ※使用者を乗せたまま前方グリップを持って移動したり、前方グリップをハンドル代わりにして本体を操作しないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。



写真①



写真②

肘掛けの取り扱い方 さわやかチェア PT SAL

●肘掛けの取り扱い方

1. 支柱パイプにあるロック解除ボタン（図①）を押してロックを解除し、肘掛けをはね上げます。
2. はね上げた肘掛けを下ろす際は、ロックが掛かるまでしっかり下ろしてください。

※肘掛けを上から押すだけで肘ロックは掛かります。



注意

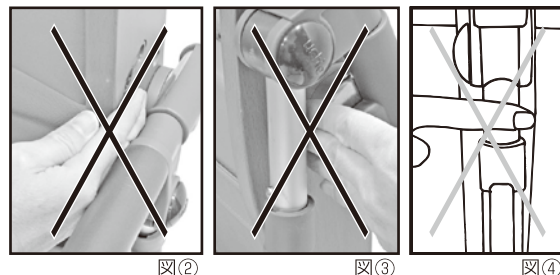
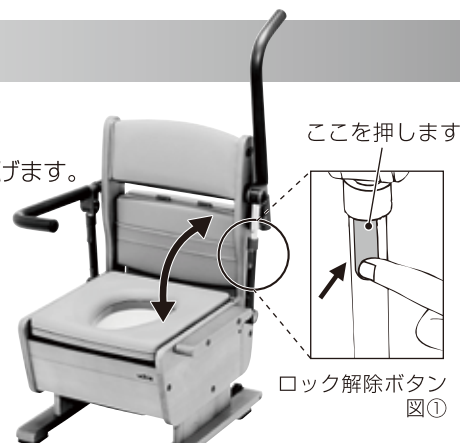
※座った状態では必ず前方グリップを外側に開いてからはね上げ、下ろす操作をしてください。前方グリップを閉じたままではね上げ、下ろす操作をすると使用者にあたります。

※肘掛けをはね上げ、下ろす際に可動する肘掛けと本体のすきま（図②）、支柱パイプと肘掛け取付部品とのすきま（図③）、可動する支柱パイプ（図④）などで手や指をはさまないように注意してください。

※はね上げた肘掛けを他方向から押さないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。

※座った状態では必ず肘掛けを下ろして使用してください。

※人が座っている状態や物を載せた状態で前方グリップを持って移動しないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。



●肘掛け高さ調節

1. 肘掛けを持ちながら付属の+ドライバーを用いてBのねじをゆるめて外してください。（写真①）
2. ご利用になる肘掛け高さの穴に合わせ、外側にジョイント、内側から座金、スペーサーと皿ねじを差し込んで締めてください。（図①）
3. Aの支柱パイプ取付ねじを付属の+ドライバーを用いて抜き、先ほど調節した肘掛け高さと同じ段階に合わせ、キャップに通した皿ねじを差し込んで締めてください。（図②）



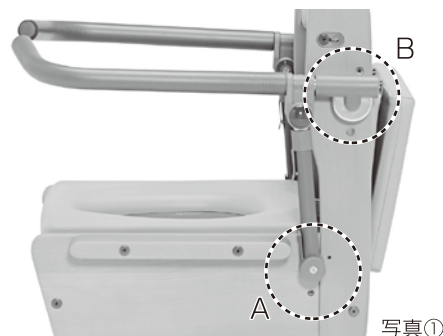
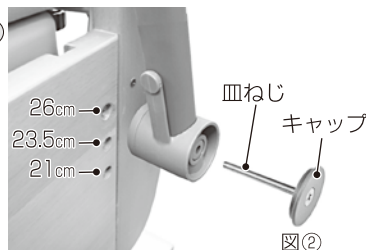
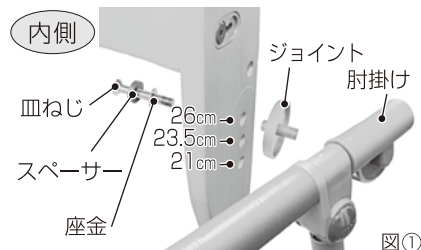
注意

※Bの肘掛け取付ねじとAの支柱パイプ取付ねじは同じ段階に調節してください。

※肘掛けをはね上げても落ちない程度に肘掛け取付ねじの締め具合を調節してください。締め過ぎると、はね上げ、下ろす動作がしづくなります。

※肘掛け高さ調節中は、肘掛けロックを解除しないでください。

※肘掛け高さ調節後は、ねじがゆるんでいないか確認してください。



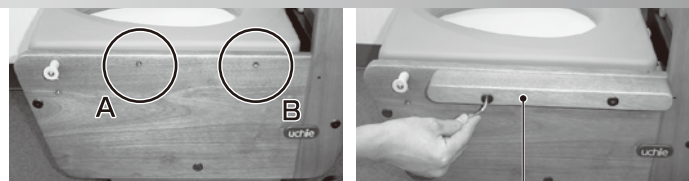
スペーサーボードの取り扱い方 肘掛けはね上げ(さわやかチェア PT) さわやかチェア PT SAL

ベッドとのスキマを埋めるスペーサーボードが、本体側面に付属しております。（肘掛けはね上げタイプのみ）

ベッドの位置に合わせて、左右どちらにでも取り付け可能です。

1. A・B2ヶ所のネジ穴にスペーサーボードを合わせます。（写真①）

2. A・B2ヶ所をボルトでしっかりと締めてください。（写真①）



写真①

スペーサーボード 写真②



注意

※ボルトは付属品のL型レンチでしっかりと締めてください。スペーサーボード使用時は、ベッドの高さ調節には注意してください。スペーサーボードがベッドのフレームにあたったり、転倒や故障の恐れがあります。

背シートの奥行調節について

1. 背シートは左右4ヶ所の背シート取付ボルトで固定されています。付属品のL型レンチを用い、全ての取付ボルトが奥行調節部から浮く程度まで緩めます（図①）

2. 背シートを前後にスライドさせます。（図②～図③）

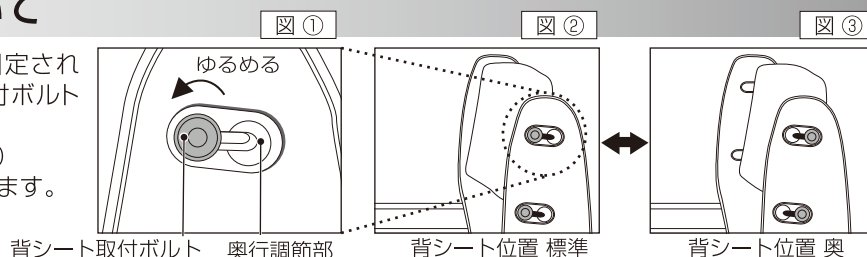
3. 4ヶ所の背シート取付ボルトを締め付けて、固定します。



注意

※背シートは斜めに取り付けができません。

※ボルトは付属品のL型レンチでしっかりと締め付けしてください。

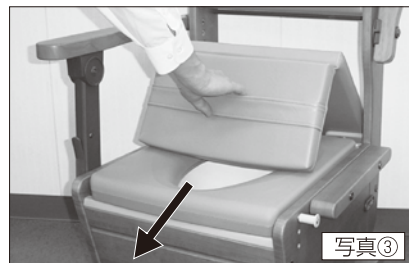


お座りパッドの上げ方

お座りパッドを写真①のように後方に押します。後方に押すと2つに折りたたため、背もたれの下に収容されます。パッド内側の汚れが背中に当る事ありません。

⚠ 注意

- ※戻す時はお座りパッドのひもを前方に引き戻して下さい。(写真③)
- ※お座りパッドに座る際は、バケツにふたをしてからお座りください。
- ※お座りパッドが折りたたまれた状態から、さらに後ろに押さないでください。破損するおそれがあります。



お座りパッドの取り外し方、取り付け方

1. 後方から左右のノブナットをゆるめて外し、ばね座金と座金を取り外します。(写真①)
2. L型部品を手で押さえながらお座りパッドを上げて外します。(写真②) 反対側も同じように外してください。
・取り付ける際はL型部品にお座りパッドのねじを通し、座金とばね座金を入れて片側づつノブナットで固定してください。

⚠ 注意

- ※取り付ける際は、必ずばね座金を入れてノブナットをしっかりと締めてください。



写真①



L型部品

写真②

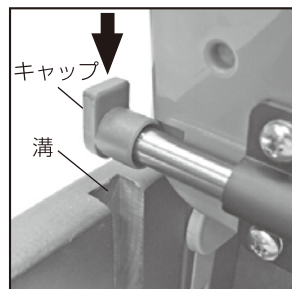
便座の取り扱い方

お座りパッドを開けて便座を上げ、そのまま持ち上げると便座を取り外すことができます。(写真①)

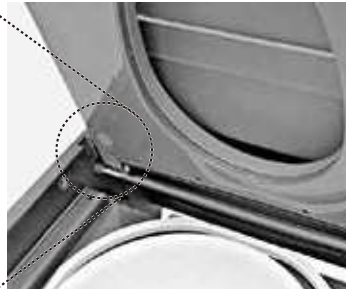
便座を取り付ける際は、お座りパッドを開けて本体の溝と便座受けパイプキャップの向きを合わせ(丸い方を差し込む)、便座を差し込んで取り付けてください。(写真②)



写真①



便座受けパイプ



写真②



便座受け

写真③

⚠ 注意

- ※便座を上げる際は、便座受けに下から指を掛けてゆっくり上げてください。(写真③) 便座クッションをつかんで上げると便座クッションが外れるおそれがあります。

尿ハネガードについて

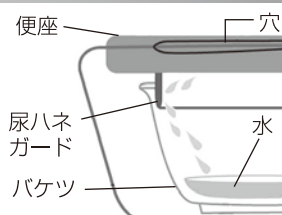
便座は尿ハネガード付きです。尿飛び、尿ハネを防ぎます。

⚠ 注意

- ※使用状況によっては、尿飛び、尿ハネが起こる可能性があります。
- ※ホット便座には付きません。



尿ハネガード



便座とバケツのすきまを埋めます。

二重バケツの取り扱い方

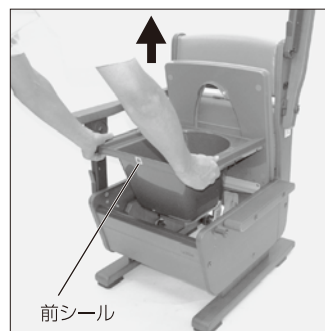
●取り外し方と取り付け方

1. お座りパッドと便座を上げてバケツを取り出し(写真①)、二重バケツを真上に取り外してください。(写真②)
2. 二重バケツを取り付ける際は、二重バケツの‘前シール’が貼られた面を前にして(写真②)、二重バケツの凹部をねじに合わせて差し込んでください。(写真③)

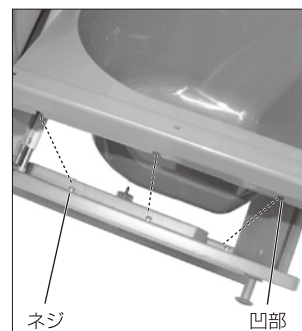
- ・バケツは二重バケツの突起(写真④)の間にバケツのリブ(写真⑤)が入るように、バケツを設置してください。(写真⑥)



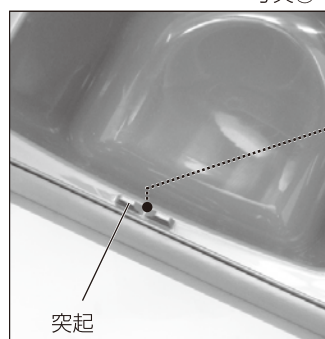
写真①



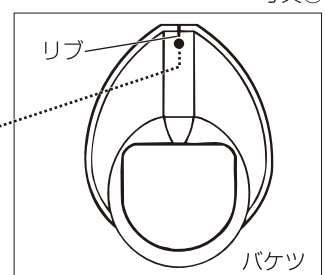
写真②



写真③



写真④



写真⑤



写真⑥

⚠注意

- ※二重バケツには前後があります。‘前シール’が貼られた面を前にして取り付けてください。
- ※二重バケツに、バケツがしっかり納まっていることを確認してください。
- ※二重バケツにバケツを取り付けた状態で使用してください。
- 二重バケツのみで使用しないでください。
- ※二重バケツを直射日光に当てたり、熱湯をかけないでください。劣化し、破損、けがをするおそれがあります。また、退色するおそれがあります。

座面の高さ調節の仕方

1. お座りパッドと便座を上げて、バケツ、二重バケツを外します。(写真①)
2. 本体内側にあるノブナットを付属のL型レンチを使用し、ぎりぎりまでゆるめます。(写真②)
3. 本体内側の凹部から脚部の凸部を外してずらしします。(写真③)
4. 脚部の凸部をスライドさせて、ご利用になる高さに合わせてください。高さ調節は、4段階です。
5. 脚部の凸部を本体内部の凹部に差し込みます。
6. L型レンチを使用し、ノブナットを締めます。

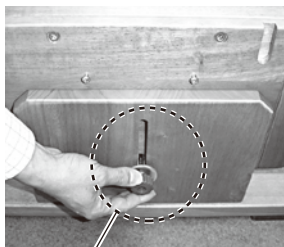
⚠注意

- ※高さ調節は片側ずつ行って下さい。
- ※ご使用の際はノブナットを必ずしっかりと締めてください。
- ※高さ調節が困難な場合は、ノブナットを緩め、脚部凸部を完全に外して調節してください。
- ※高さ調節は、本体を寝かさずに行ってください。本体を寝かされると、傷がつく恐れがあります。



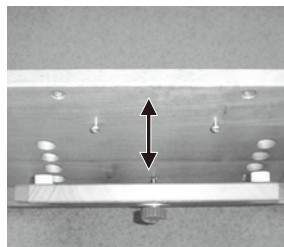
二重バケツ

写真①

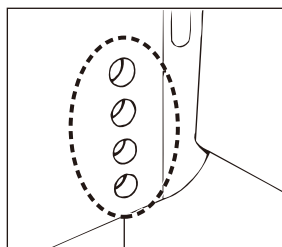


ノブナット

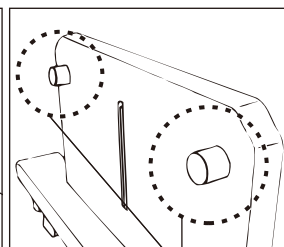
写真②



写真③



凹部



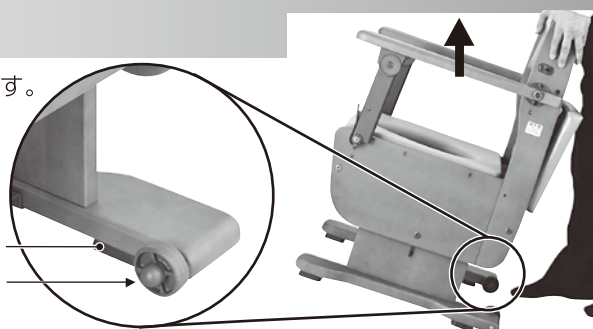
凸部

車輪について

右図のように本体を斜めに傾けると車輪が接地して、動かすことができます。平面な所では脚部のゴムで固定しているので安心してご使用できます。

- ※お掃除のとき等、本体の位置を変えたいときにご利用ください。
- ※人や物をのせたまま移動させると故障やケガの原因になりますので、お止めください。

滑り止めゴム
移動用車輪



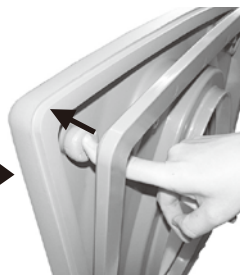
便座クッションの取り外し、取り付け方

● 取り外し方

便座の裏側から便座クッションを押し取り外してください。(写真①②)



写真①



写真②

● 取り付け方

便座クッション裏面の凸部を便座受けの穴に合わせ、上からしっかり押し付けてください。(写真③)



写真③

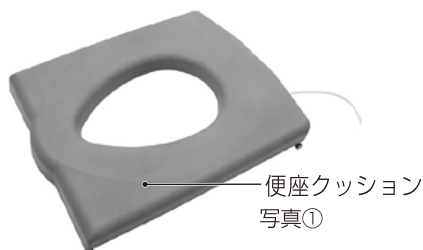
⚠ 注意

- ※頻繁に便座クッションを取り外さないでください。何度も外されると裏面の凸部が破損するおそれがあります。
- ※便座クッションを取り外す際は、必ず裏側から便座クッションを押し取り外してください。
- ※便座クッションを横から引っ張ったり、力を入れて抜かないでください。便座クッションが裂ける場合がございます。
- ※便座クッションがしっかり固定されているか確認し、使用してください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。

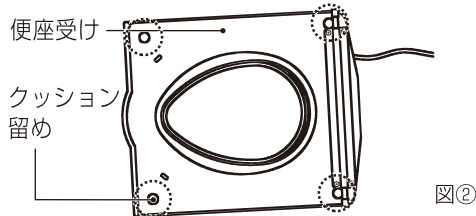
ホット便座クッションの取り外し、取り付け方

● 取り外し方

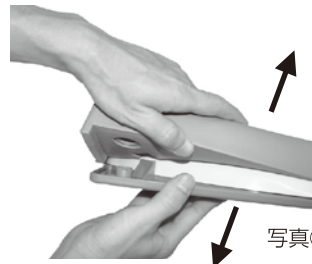
- 1.便座を本体から取り外し、便座クッション（表面）を上向きに置いてください。(写真①)
- 2.クッション留め（4ヶ所・図①）周辺の便座クッションと便座受けの間に指を入れて、便座クッションを取外してください。(写真②)



写真①



図①

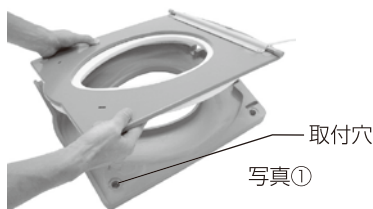


写真②

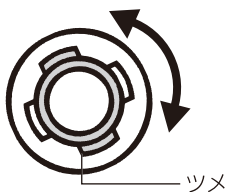
⚠ 注意 ※便座クッションはゆっくりと取り外してください。破損するおそれがあります。

● 取り付け方

- 1.クッション留めのツメが90°回転していることを確認し、裏返した便座クッションに便座受けをのせてください。(写真①)
- 2.便座クッションの取付穴にクッション留めを合わせ、クッション留めを押し込んでください。(4ヶ所・写真②)
便座クッションが入りにくい場合は、便座クッションをめくり、クッション留めと取付穴が合っていることを確認しながら、便座クッションを押し込んでください。(写真③)



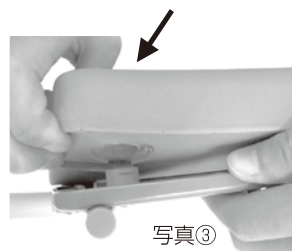
写真①



ツメ



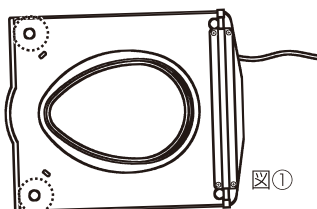
写真②



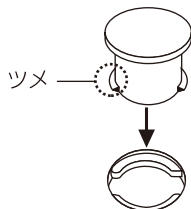
写真③

● クッション留めが外れた場合

- 1.裏返した便座クッションにプラスチック部をのせてください。(図①)
- 2.クッション留めのツメとプラスチック部の取付穴の凹部を合わせて差し込み、ツメが抜けないようにクッション留めを90°回転させて、押し込んでください。(図②・写真①)



図①



ツメ



図②



写真①

ホット便座について

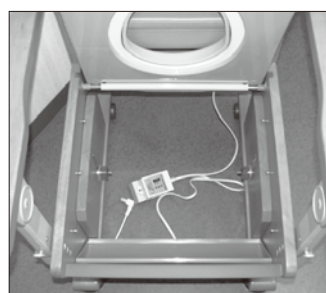
冬でも暖かなホット便座です。
表面はやわらかなので、長時間
座の方にも最適です。

※ホット便座は後付けができます。

●ホット便座の取り付け時の注意

※ホット便座の外し方、取り付け方は、
『便座の外し方』を参照ください。

1. ホット便座にはコードがついています。
ポータブルトイレ本体の中にコードを
垂してから便座を取り付けてくだ
さい。(写真①)コードを外に出したまま便座を取り付けると、便座を下した時に便座と本体にコードが挟まれ故障の原因となります。
2. 本体の後ろ、もしくは横からコードを出し(写真②)、スイッチボックスのコの字型金具を横板(写真③)、または後板に掛けて使用し
てください。(写真④)
※肘掛け自在タイプで両側とも短い肘掛けを使用している場合はコの字型金具を後板に掛けてください。



写真①



写真②



横板
スイッチボックス



写真④

⚠ 注意

※スイッチボックスを必要以上に引っ張らないでください。破損、故障の原因となります。
※コードを便座とお座りパッドではさまないように注意してください。

●ホット便座クッションの洗い方について

ホット便座の便座クッションは取り外して洗え、いつでも清潔にご使用いただけます。
便座、便座受けは水をふくませて固くしぼった布で拭いてください。汚れがひどい時は
水で薄めた中性洗剤をふくませたやわらかい布で拭いてください。その後、水拭きし、
洗剤が残らないように拭き取ってください。

※便座、スイッチボックスは電化製品が含まれていますので、絶対に洗わないでください。
故障の原因になります。

※便座、便座受けのお手入れ時には、安全のため、コンセントを外して行なってください。

※ウェットティッシュ(アルコール入)で便座クッションを拭くと色落ちしますのでお止め
ください。

⚠ 注意

ホット便座ご使用時の注意

季節やご使用方法によってホット便座の体感温度が低く感じる事があるかもしれませんが、
便座クッションを外してのご使用は絶対になさらないでください。固定部品がついていま
すので、ケガをする恐れがあります。

電源を入れても便座はすぐに温まりません。暖房が必要な方は使用しない時も
電源を入れたままにしてください。また、お座りパッドは閉めてください。



固定部品

ホット便座の取扱説明書

■ご使用方法

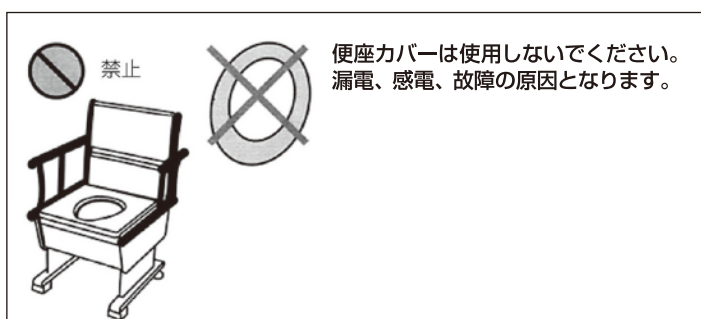
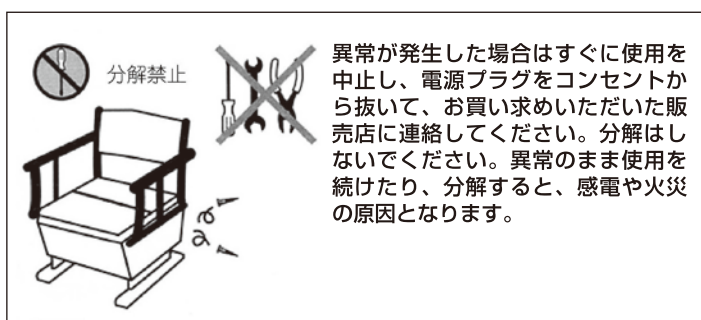
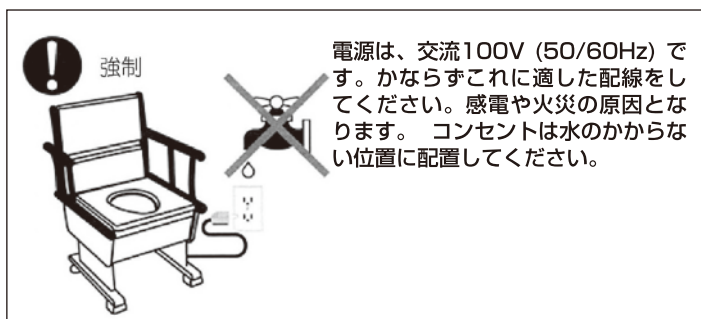
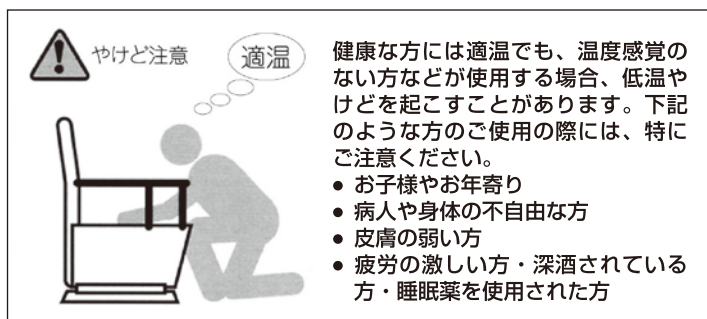
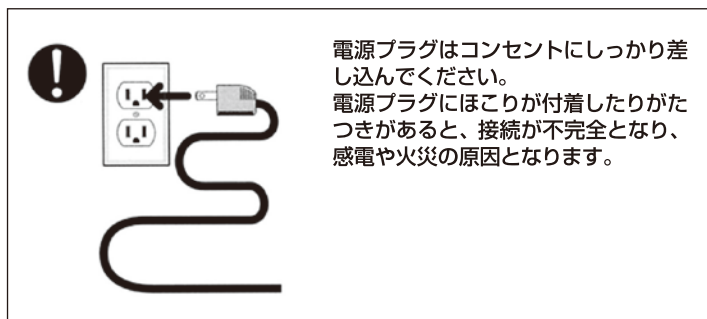
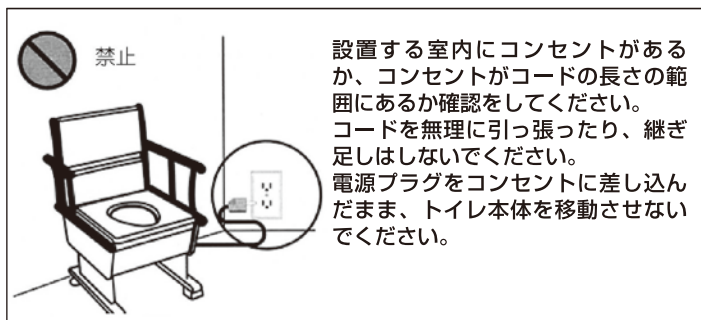
1. 電源プラグをコンセントに差し込んでください。電源は交流100V(50/60Hz)です。この時ほこりが付着していないか確認し、根元まで確実に差し込んでください。
2. 電源スイッチを「切」の位置から「弱」または「強」にしてください。

なお、スイッチを入れても便座はすぐに温まりません。温まるまで約60分かかります。
※お座りパッドを開いたままですと温まりにくくなります。
※使用しない時は、お座りパッドを閉めてください。

■安全上の注意事項（安全のため必ずお守りください。）

■仕様

定 格	AC100V-35W
表面温度	強/34～38℃ 弱/31～35℃ (室温20℃の時)
発熱体	ヒーター
スイッチ(温度調節)	強・弱 二段切替式
電源コード	ビニールコード
電源プラグ側	長さ1m



安全上の注意事項

使用上のご注意

安全のため必ずお守りください

- 本製品を本来の目的以外で使用したり、お客様ご自身での改造や分解が原因で起きた破損・事故に関しましては、保証対象外となりますのでお止めください。
- 故障の原因となりますので、次のところに放置しないでください。
 - ・戸外 ・雨に濡れるような場所 ・直射日光のあたる場所 ・冷暖房器の冷気や熱気が直接当たる場所
 - ・潮風の当たる場所 ・ストーブなど火気の近く ・高温多湿、低温な場所 ・風通しの悪い場所
- 物を載せて運ぶなど、『ポータブルトイレ』以外の用途で 사용하지 しないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 平坦な場所で使用してください。本体ががたついたり、変形、破損するおそれがあります。
- Pタイルやフローリングなど硬質な滑りやすい床面で使用する場合は、乗り降りの際に特に注意してください。
- がたつく場所や段差では車輪を使用しないでください。車輪や本体が破損するおそれがあります。
- 人が座っている状態やものを載せた状態での移動、バケツ内に水や汚物を入れたままでの移動はしないでください。破損、転倒、けがをするおそれや水や汚物がこぼれるおそれがあります。
- ねじがゆるんだまま使用しないでください。破損、けがをするおそれがあります。
- 各部調節後はねじをしっかりと締めてください。
- 便座の高さ調節は使用者の足が床に付く高さにしてください。使用者が転倒するおそれがあります。
- 下肢の筋力低下により倒れ込むように座られると本体が破損するおそれがあります。
- 立ち座りが安定しないなど、使用者の状況によっては介助者付き添いのうえ使用してください。
- ベッドサイドなどで使用する際はポータブルトイレの左右どちらかを、すきまをあけず隣接させて使用してください。
- 踏み台の代わりとして座面の上や肘掛けなどに立たないでください。特に便座穴にあたる中央部に荷重を掛けると、お座りパッドが破損するおそれがあります。
- 肘掛けや背シートを取り外した状態で使用しないでください。破損、けがをするおそれがあります。
- 勢いよく座らないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- お座りパッドや便座の前縁部に腰掛けしないでください。転倒してけがをするおそれがあります。
- 座った状態で身体を横方向に大きく傾けるなど、片側のみに体重を掛けしないでください。また、身体を乗り出さないでください。転倒するおそれがあります。
- 肘掛けや前方グリップ、座面の片側だけに無理な荷重をかけないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 肘掛けや前方グリップに腰掛けたり、もたれないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 肘掛けや前方グリップに重いものを引っ掛けしないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 肘掛けや前方グリップ、背シートをななめや他方向から押さないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 肘掛けをはね上げた状態で肘掛けの内外から荷重を掛けしないでください。破損するおそれがあります。
- 肘掛けをはね上げた状態で背もたれに過度な荷重を掛けしないでください。破損するおそれがあります。
- 肘掛けをはね上げたり下ろす際に、腕や手、指などをはさまないように注意してください。
- 肘掛けをはね上げて横移乗した後等の使用時には、必ず肘掛けをロックしてください。ロックされていないと不意に肘掛けがはね上がり、破損、転倒、けがをするおそれがあります。ロックする際は、指をつめたり、けががないよう注意してください。
- 『SALタイプ』は肘掛けを垂直に押すように使用してください。肘掛けを内側や外側にねじると不意に肘掛けが回転し、転倒、けがをするおそれがあります。
- 背シートを立ち上がりや、つたい歩き等のために使用しないでください。転倒、けがをするおそれがあります。
- 背シートを後方に押さないでください。車輪で本体が動き、転倒してけがをするおそれがあります。
- 電源プラグの表面にホコリが付着している場合、乾いた布などでよく拭き取ってください。発火するおそれがあります。
- 電源コードが破損する、次の行為はしないでください。
 - ・踏む ・重いものを載せる ・無理な力で引っ張る ・足を引っ掛ける ・折り曲げたり束ねる
- 電源プラグを濡れた手で抜き差ししないでください。感電や故障のおそれがあります。
- 本体に直接水を掛けて洗わないでください。
- 安心、安全にお使いいただくため、使用前や定期的に点検を実施してください。製品に異常がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店にご連絡ください。

お手入れ方法

- 水拭きした後、乾いた布で拭き取ってください。
- 汚れがひどい時には水で薄めた中性洗剤を布に浸し、強く絞って拭いてください。その後、乾いた布で拭き取ってください。※ご利用の洗剤の使用 방법에あわせてください。
- 木部を頻繁に拭きますと塗装がはがれるため、変色の可能性があります。
- お手入れには、トイレ用洗剤・塩素系、酸性、アルカリ性洗剤・除菌剤・殺虫剤・クレンザー・クレゾール・アルコール・ウェットティッシュ（アルコール入）・シンナー・ベンジン・灯油などの溶剤は絶対に使用しないでください。また、ナイロンたわしなどを使ってお手入れをされますと傷みの原因となりますのでおやめください。
- 便座クッションに60℃以上の熱湯をかけないでください。EVA、樹脂部品等が変形、劣化し、破損、けがの原因となります。

商品廃棄方法

各市区町村条例で定められた分別に従って廃棄してください。

ウチエ株式会社 サービス係

本社／大阪営業所 〒660-0805 兵庫県尼崎市西長洲町2-8-29 TEL(06)6482-0230 FAX(06)6401-6372

関東営業所 〒271-0087 千葉県松戸市三矢小台4-12-3 TEL(047)362-0311 FAX(047)362-0312

福岡営業所 〒819-1107 福岡県糸島市波多江駅北4-6-5 TEL(092)323-4331 FAX(092)323-4332

兵庫工場 〒673-1334 兵庫県加東市吉井732-1

検査印

●常に皆様のご要望に応え、改善して参りますので、デザイン・色柄・仕様は予告無く変更する場合がございます。予めご了承ください。

21.10.X